

浩一（慶大）。口腔顎顔面痛の最新ガイドライン：米国 AAOP 学会による評価，診断，管理の指針，改訂第4版，東京：クインテッセンス出版，2009。

- 2) 杉崎正志，写真でマスターする切開と縫合の基本テクニック，東京：ヒョーロン・パブリッシャーズ，2009。

V. その他

- 1) 杉崎正志，（シンポジウム8：一般開業医・患者の視点に立った日本顎関節学会初期治療ガイドライン）開業医の視点に立った診療ガイドラインとは，第21回日本歯科医学会総会，歯界展望 2009；特別号（めざせ！健・口・美 未来に向けた歯科医療 第21回日本歯科医学会総会）：125。
- 2) 杉崎正志，来間恵里，木野孔司¹⁾，澁谷智明（日立横浜病院），塚原宏泰²⁾，島田 淳²⁾（²⁾開業），玉井和樹，高山岳志，西山 暁¹⁾（¹⁾東京医科歯科大），（ポスターセッション）妥当性検証が終了したアンケートによる顎関節症患者の疫学調査，歯界展望 2009；特別号（めざせ！健・口・美 未来に向けた歯科医療 第21回日本歯科医学会総会）：323。
- 3) 杉崎正志，顎関節症治療とBP関連顎骨壊死，その新しい風，江東7地区歯科医師会講演会，東京，2月。
- 4) 杉崎正志，ビスホスホネート薬剤と顎骨壊死ー最近の動向，整形外科と歯科との医療連携ー，栃木県整形外科医会研修会，小山，2月。

輸 血 部

教 授：星 順隆

輸血管理学，小児輸血医学，
小児血液腫瘍学

教 授：溝呂木ふみ
(第三病院)

輸血管理学，血液腫瘍内科学

准教授：田崎 哲典

輸血管理学，輸血医学

講 師：増岡 秀一
(柏病院)

輸血管理学，血液腫瘍内科学

教育・研究概要

I. 輸血部における教育

- | | |
|------------|--|
| 1. 医学演習講義 | 輸血と倫理（90分×1回）
3年生 |
| 2. 外科学総論講義 | 輸血学（90分×3回）4年生 |
| 3. 臨床系実習 | 血液センター見学（180分×10回）4年生
実技実習（180分×10回）4年生 |
| 4. 救急医学講義 | 救急と輸血（45分×1回）
4年生 |
| 5. 初期研修 | 輸血手技と輸血準備（14時間×6回）初期研修医 |

輸血部で受け持つ教育は前年度と変わりなく，上記に加え，検査技師実習生，認定試験受験者の指導等多岐におよび，担当医師のみならず検査技師の負担は大きい。さらに，第三病院および青戸病院の初期研修医に対する講義もするため，厚生労働省に外向している大坪医員の欠員に対して，第三病院（溝呂木教授）柏病院（増岡講師），と非常勤講師（長田医師）の助力を頂き，教育を実施した。

II. 輸血部における研究

1. 輸血医療の安全管理：ヘモビジランス体制構築のための副作用全数調査に参画するとともに，副作用の調査精度の向上を目指す院内体制の整備をはかり，その結果を第57回日本輸血細胞治療学会総会で3題報告した。

2. 適正輸血の推進に関する検討：院内の血液製剤の使用状況の解析を行い，適正輸血の推進に有用な方策を立案試行するとともに，解析をして輸血関連諸学会で報告した。

3. 自己血輸血の安全性の確立：自己血輸血を安全に実施するために，採取方法，処理方法，保存方

法等の検討を継続している。

4. 安全な輸血システムの開発：厚生労働省「レギュラトリーサイエンス研究事業」藤井班に分担研究者とし田崎准教授が、研究協力者として星が参加し、わが国の輸血医療の安全性確立のための調査研究を実施した。

5. 新生児、乳児に対する輸血の安全を検討するためにNICUにおける輸血状況の調査を星が代表世話人を務める、小児輸血療法研究会を中心に実施し、問題点を検討し、班研究会で報告するとともに、小児輸血マニュアルの監修をおこなった。

「点検・評価」

田崎哲典准教授がスタッフとして参加し、研究体制の構築と管理体制の強化を図る事ができた。前年に引き続き第57回輸血細胞治療学会総会では5題、米国血液銀行協会（AABB）2009年次総会で2題を発表することができた。しかし、前年に引き続き大坪寛子助教が厚生労働省に出向し続けて、マンパワー不足は改善しなかった。

今日、輸血副作用の主たるものは細菌感染症とTRALI（急性肺障害）であり、原因究明と予防法の開発が求められているために、研究の主体も細菌混入の同定法の開発に力をいれた。さらに国家プロジェクトとしてヘモビジュランスシステムが、大坪助教の働きにより稼働され、われわれも引き続き検討チームに加わりシステムの普及に努めている。

教育に関しては前年度と変わりなく実施できた。

初期研修医教育は、例年通り1グループ14時間を6グループに対して実施した。

星は、日本輸血細胞治療学会の法人担当理事として、法人事業の運営を軌道にのせる事で、社会的貢献をめざし、厚生労働省医薬品局：生物製剤による感染等副作用救済制度の判定部会員として、社会貢献をしている。田崎は、学会の認定技師試験委員長として認定技師制度を普及することにより、わが国の輸血医療の安全性向上に寄与し、認定輸血看護師によるさらなる安全対策を目指して、制度の設立に奔走している。

従って、少人数のマンパワー不足を考慮して、自己評価では前年に引き続き80点と考えたい。しかし、前年度に引き続き本年度も、マンパワー不足とともに研究費不足で、十分な研究業績を上げることができず、大学院規定の論文数の作成目標を達成できなかった。

研究業績

I. 原著論文

- 1) Tasaki T, Ohto H, Sasaki S, Kanno T, Igari T, Hoshi Y. Significance of pre-storage leukoreduction for autologous blood. Vox Sang 2009; 96(3) : 226-33.
- 2) Fujii Y, Shibata Y, Miyata S, Inaba S, Asai T, Hoshi Y, Takamatsu J, Takahashi K, Ohto H, Juji T, Sagawa K. Consecutive national surveys of ABO-incompatible blood transfusion in Japan. Vox Sang 2009; 97(3) : 240-6.

II. 総説

- 1) 田崎哲典, 星 順隆. 低アルブミン血症とイオン化カルシウム. 医事新報 2009; 4446 : 79-80.
- 2) 田崎哲典, 星 順隆. 輸血療法の安全性を高めるために－輸血責任医師の役割と輸血安全監視員（仮称）の任命－. 厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究（H21－医療－一般－016）平成21年度総合研究報告書 2010; 84-95.
- 3) 星 順隆. 新生児輸血療法の実施状況について. 厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究（H21－医療－一般－016）平成21年度総合研究報告書 2010; 38-43.
- 4) 星 順隆. 【輸血をめぐるノウハウ】臍帯血輸血・自己血輸血とは？臨研プラクティス 2009; 6(1) : 78-9.

III. 学会発表

- 1) Tasaki T, Hoshi Y. Pre-storage leukoreduction of autologous blood for patients with rheumatoid arthritis. New Orleans, 2009 AABB Annual Meeting & TXPO. Oct. [Transfusion 2009; 49(Suppl.) : 158A]
- 2) 田崎哲典, 三浦吉範, 山田友紀, 星 順隆. 造影剤の保存自己血への影響. 第57回日本輸血・細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2) : 295]
- 3) 田崎哲典, 星 順隆. (ワークショップ4)学会認定・自己血輸血看護師制度の必要性. 第57回日本輸血・細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2) : 212]
- 4) 星 順隆, 山崎恵美, 堀 淑恵, 伊藤幸子, 鶴間久美子, 近藤恵子, 島 誠子, 堀井節子, 石井謙一郎, 長谷川朱香, 永井高史, 田崎哲典. 輸血管理の問題事例の解析. 第57回日本輸血・細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2) : 248]

- 5) 長谷川朱香, 山崎恵美, 堀 淑恵, 伊藤幸子, 鶴間久美子, 近藤恵子, 島 誠子, 堀井節子, 石井謙一郎, 永井高史, 田崎哲典, 星 順隆. 輸血副作用管理への対応. 第57回日本輸血細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2): 247]
- 6) 堀 淑恵, 山崎恵美, 伊藤幸子, 鶴間久美子, 近藤恵子, 島 誠子, 堀井節子, 石井謙一郎, 長谷川朱香, 永井高史, 田崎哲典, 星 順隆. 緊急O型輸血が問題になった2症例. 第57回日本輸血・細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2): 222]
- 7) 堀越泰雄, 白幡 聡, 長田広司, 小原 明, 渡辺 新, 西川健一, 藤村吉博, 星 順隆. 小児輸血療法ーガイドラインの評価と展望ー. 第57回日本輸血・細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2): 178]
- 8) 田崎哲典, 長谷川望, 大坪寛子, 永井 高, 堀 淑恵, 山崎恵美, 星 順隆. 術前自己血貯血の安全性(続報). 第22回日本自己血輸血学会学術総会. 福島, 3月. [自己輸血 2009; 22(学会総会): s21]
- 9) 田崎哲典. (シンポジウム4: 安全な輸血と病院輸血担当者の責務) 4. 輸血責任医師の役割. 第16回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム. 名古屋, 11月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(4): 471]
- 10) 星 順隆. 小児輸血療法の新たな試み微量検査の課題. 第16回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム. 名古屋, 11月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(4): 473]
- 11) 脇本信博, 面川 進, 松崎浩史, 田崎哲典, 安村 敏, 大戸 斉. (ワークショップ4) 学会認定・自己血輸血看護師制度の行程. 第57回日本輸血細胞治療学会総会. さいたま, 5月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(2): 214]
- 12) 田崎哲典. (いわき記念セミナー) 輸血免疫修飾と白血球除去. 第95回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会. いわき, 9月. [日輸血細胞治療会誌 2009; 55(5): 653-4]

IV. 著 書

- 1) 田崎哲典. 5. 知っておきたい輸血療法と安全対策 インフォームドコンセント, 輸血副作用とその対策. 大戸 斉, 大久保光夫編. わかりやすい周産期・新生児の輸血治療: 研修医から専門医まで必修の輸血療法と安全対策. 東京: メジカルビュー社, 2009. p.218-24, 31-43.
- 2) 星 順隆. 1. 小児輸血療法の歩み 2) 小児に対するインフォームド・コンセント(アセント), 3) 小児と輸血拒否. 長田広司, 堀越泰雄, 小原 明編, 星 順隆監修. 小児輸血マニュアル. 東京: 克誠堂出版, 2009. p.8-13.

- 3) 星 順隆. 3. 小児に対する輸血手技. 長田広司, 堀越泰雄, 小原 明編, 星 順隆監修. 小児輸血マニュアル. 東京: 克誠堂出版, 2009. p.20-3.
- 4) 星 順隆. 5. 特殊な輸血療法 3) 自己血輸血. 長田広司, 堀越泰雄, 小原 明編, 星 順隆監修. 小児輸血マニュアル. 東京: 克誠堂出版, 2009. p.50-3.
- 5) 星 順隆. 6. 細胞治療 2) 造血細胞移植と輸血. 長田広司, 堀越泰雄, 小原 明編, 星 順隆監修. 小児輸血マニュアル. 東京: 克誠堂出版, 2009. p.58-61.